

競技注意事項（案）

1. 競技規則について

本大会は、2019年日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技器具について

[1] 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。但し、棒高跳用ポール及び、競技場に備え付けのないやりは、検定の上、借り上げて競技会で使用を認める。やりの借り上げは、競技開始90分前までにTICに申し出ること。また、ポールの検査は競技開始前に競技場所にて行う。

[2] フィールド競技および400mRで使用するマーカーは、主催者が用意したものを使用する。なお、走高跳の競技者は、競技者係から受けたテープのみを置くことが出来る。

3. 練習について

[1] 練習は補助競技場を使用する。練習日程、練習会場、練習時間は別表の通りとする。

[2] 投てき競技の練習については、係員の指示に従って十分注意して行うこと。

4. 招集について

[1] 招集所は、本競技場と補助競技場の間に設ける。

[2] 招集開始時刻、完了時刻は競技開始時刻を基準として、下記の通りとする。

区分	種目	ラウンド	招集開始	招集完了
トラック競技	100m.200m.400m.800m.1500m. 5000m.10000m.100mH.110mH.400mH. 3000mSC.5000mW.400mR.1600mR	予選・決勝	30分前	15分前
跳躍競技	三段跳・走幅跳・走高跳	決勝	55分前	40分前
	棒高跳	決勝	100分前	80分前
投てき競技	砲丸投	決勝	45分前	30分前
	円盤投・やり投	決勝	55分前	40分前
	ハンマー投	決勝	65分前	50分前
混成競技	十種競技	両日の第1種目	30分前	15分前
	七種競技	第1日目・第1種目	30分前	15分前
		第2日目・第1種目	45分前	30分前

[3] 混成競技の第2種目以降については混成競技者控え室に待機し、トラック競技は競技開始15分前までに、フィールド競技は競技開始30分前までに、混成競技係の誘導で競技場所に集合する。

5. 招集の手順

[1] 競技者は招集開始時刻前に招集所で待機し、競技者係より最終点呼を受ける（代理人による点呼は、原則として認めない）。その際、ナンバーカード、スパイク、商標の大きさなどについて確認を受ける。（商標については、競技会における広告および展示物に関する規定参照）

[2] 最終点呼終了後、審判員の誘導で競技場内へ移動する。

[3] 同時時間帯に2種目兼ねて出場する競技者は、「2種目同時出場届」（用紙はTICに準備）を招集開始時刻までに競技者係に提出して指示に従う。

[4] 棄権する場合は「棄権届」（用紙はTICに準備）を招集開始時刻までに競技者係に提出する。

[5] 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。

[6] ナンバーカードは交付された大きさのまま、胸・背に確実に付ける。ただし、走高跳・棒高跳は胸または背中どちらか一方、走幅跳・三段跳は胸だけでもよい。また、トラック種目では、腰ナンバーカードを左右の腰後方に付ける（配布は招集所で行う）。なお、競歩競技においては、招集所で配布する特別ナンバーカードを使用し、胸・背に確実に付ける。

6. 競技場への入退場について

- [1] 競技場への入退場は、すべて係員の誘導による。
- [2] トラック競技出場者はフィニッシュライン到着後、選手入退場口より退場する。
- [3] トラック競技出場者の衣類は、係員が入退場口付近のテントに運搬する。(リレーにおいては、400mRの最終走者以外の衣類は運搬しない)
- [4] フィールド競技者については、審判員の指示によって退場する。
- [5] 第1位から第3位までの入賞者は、審判員の誘導によって入賞者控所に入る。第4位から第8位までの入賞者は、TICで賞状を受け取る。

7. 競技について

- [1] 当該競技の出場者以外は、競技場内に立ち入ることは出来ない。
- [2] 競技場内におけるフィールド競技の練習は、すべて審判員の指示に従って行う。
- [3] 助力とみなされるビデオ、音楽プレーヤー、トランシーバー、携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んで서는ならない。コーチングエリアは設けないが、スタンドから指導を受ける場合は、該当競技審判員に申し出ること。
- [4] トラック競技の決勝の組み合わせ・走路順は、主催者が公平に抽選して決定し、決定したい招集所掲示板に掲示する。
- [5] トラック競技で次のラウンドに進む追加競技者の決定については次のとおりとする。
同記録者がありレーンが不足するときの処置は詳細な着差判定を行い、それでも解決しない場合は本人または代理者により抽選を行う。レーンに余裕がある場合は、着差判定を行うことなく同記録者を次のラウンドに進ませる。
- [6] 競技運営上、以下の種目に制限時間を設ける(以下の時間を越えて次の周回には入れない)。
男子 10000m 35分 女子 10000m 43分
男子 5000mW 27分 女子 5000mW 32分
- [7] 男女の走幅跳と男子三段跳は、A・Bの2ピットで行い、トップ8はAピットで行う。三段跳の踏切板の位置は、男子13m、女子10mとする。
- [8] リレーに出場するチームは、オーダー用紙(用紙はTICに準備)をラウンドごとに招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。

8. バーの上げ方

- [1] 走高跳・棒高跳決勝のバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決まるまで次の通りとする。(但し、気象状況等によっては審判長によりバーの上げ方を変更する場合もある)

種目		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1.80 2.00	1.90	1.95	2.00	2.03	2.06	2.09	競技者が最後の一人になり優勝が決まるまで、3cmずつ上げる。
	女子	1.50 1.60	1.55	1.60	1.65	1.68	1.71	1.74	
棒高跳	男子	4.30 4.80	4.50	4.70	4.80	4.90	5.00	5.05	競技者が最後の一人になり優勝が決まるまで、5cmずつ上げる。
	女子	2.80 3.30	3.00	3.20	3.40	3.50	3.60	3.65	

- [2] 第1位が同成績の場合、順位決定試技のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

- [3] 混成競技の走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種目		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1.45 1.80	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	以後3cmずつ上げる。
	女子	1.25 1.50	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	
棒高跳	男子	2.60 3.60	2.80	3.00	3.20	3.40	3.50	3.55	以後5cmずつ上げる。

9. 抗議について（競技規則第 146 条参照）

- [1] 競技中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、競技規則第 146 条により、結果の正式発表後 30 分以内に、また次のラウンドが行われる種目では、結果の正式発表後 15 分以内に、本人または監督から審判長に対して口頭で申し出る。ただし、受付は T I C で行う。
- [2] 審判長の裁定に不服の場合は、上訴審判員に預託金 10,000 円を添えて文書で上告する。この預託金は、抗議が却下された場合は返却しない。「抗議申立書」は担当総務員席に準備する。

10. 表彰について

- [1] 各種目 1 位～ 3 位の入賞者（含：リレー）は競技終了後、直ちに表彰を行うので競技役員の誘導のもと、正面スタンド下、表彰者控所に移動し待機する。
- [2] 4 位～ 8 位の入賞者は、正式発表後 30 分を目安に T I C に賞状を取りに来る。
- [3] 各種目の優勝者には賞状と選手権賞を、第 2 位から第 8 位の入賞者には賞状を授与する。

11. 一般連絡・注意事項

- [1] 本大会は T I C（総合案内所）を正面玄関付近に設ける。各種届け出用紙の配布および競技に対する質問・抗議ほか、大会運営のすべての窓口とする。
- [2] 各スタンドの最前列（正面スタンドは中段を含む）には、横断幕・のぼり旗等を取り付けてはならない。その他の場所においても、個人名の表示されたものは一切掲げてはならない。
- [3] 各スタンドの中段より上部以外にはテントを張ることを禁止する。
- [4] 競技会で発生した事故等については、主催者側で応急処置をするが以後の責任は負わないものとする。
- [5] 大会期間中の貴重品の管理は各自が責任を持って行うこと。遺失物については、T I C で保管する。
- [6] すべての競技記録は正面玄関付近の掲示板に掲示する。
- [7] 「記録証明書」を希望する競技者は、T I C で「記録証交付願」に必要事項を記入の上 500 円を添えて申し込む。
- [8] 棒高跳ポールの返送は、T I C において競技終了後 2 時間後までに手続をすること。
- [9] ゴミの処理については分別回収に協力する。
- [10] 個人情報の取り扱いについて、個人情報保護に関する法令を遵守し、個人情報保護方針に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラムの編成及び作成、記録発表その他競技会運営及び陸上競技に必要な連絡等に使用する。

練習会場日程

	本競技場	補助競技場
22日(木)	トラック全種目(13:00~17:30)	トラック全種目(13:00~17:30)
	跳躍全種目(13:00~17:00)	跳躍全種目(棒高跳を除く)(13:00~17:00)
	砲丸投(13:00~17:00)	砲丸投(13:00~17:00)
	やり投(13:00~15:00)	
	円盤投(15:00~17:00)	
23日(金)	トラック全種目(8:00~9:00)	トラック全種目(8:00~17:00)
	棒高跳(8:00~)	跳躍全種目(棒高跳を除く)(8:00~17:00)
24日(土)	トラック全種目(7:30~8:30)	トラック全種目(7:30~18:30)
	棒高跳(7:30~)	跳躍全種目(棒高跳を除く)(7:30~17:00)
25日(日)	トラック全種目(7:30~8:30)	トラック全種目(7:30~16:00)
		跳躍全種目(棒高跳を除く)(7:30~12:00)

* 練習会場注意事項

- (1) 練習は各個人が係員の指示に従い指定された場所・時間で行い、「事故防止」に万全を期す。
- (2) 練習に必要な用器具は原則として各自が持参する。
- (3) ゴムチューブ等によるけん引練習は禁止とする。
- (4) 所持品等は、個人の責任で管理する。

* 練習会場の使用について

(1) メイン競技場

練習会場使用日程に従い練習を行うこと。

(2) 補助競技場

競走路の使用は以下の通りとする。なお、逆走は禁止とする。

- (ア) 周回1~2レーンは、中・長距離及び競歩。
- (イ) 周回3~4レーンは、短距離。

ただし、第1曲走路及びバックストレートの7~8レーンは、400mHを優先させる。

- (ウ) ホームストレートの4~6レーンは、短距離。7~8レーンは、100mH、110mH。

なお、事故防止のため第3~第4コーナーにおいては、4レーンより外側のレーンの走行は直線と交わる地点までで停止する。

* 以上の内容は変更されることもある。練習場係の指示に従うこと。